

科目名 ナンバリングコード	健康教育方法論 NUS2219MN5	必修科目	3年次 1学期	講義・演習	2単位
科目責任者	医学部看護学科 講師 河原田 康貴				
科目担当者	医学部看護学科 益守 かづき、舞弓 京子、佐藤 祐佳、加藤 陽子、草場 知子、福浦 善友、松島 亜希子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 健康レベルやライフステージごとの健康問題と健康教育の特徴、健康教育における企画・実践・評価の方法について学習し、健康教育の実際について理解を深める。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 健康教育の概念、諸理論、方法論について理解できる。</p> <p>2) 健康教育の対象となる個人や集団の発達段階や健康レベルに応じた健康教育の展開について理解できる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習（予習・復習等）	必要時間	
第1回	ガイダンス、健康教育・学習の歴史の変遷	河原田【講義】	<p>テキストの該当箇所を熟読し、それぞれの授業内容をイメージできるように予習する。</p> <p>実施した講義内容について、テキストや配布資料で復習する。</p>	<p>毎回の予習と復習で各30～60分</p>	
第2回	健康問題のアセスメント方法	河原田【講義】			
第3回	個別健康教育の方法	河原田【講義】			
第4回	周産期における健康教育①	加藤【講義】			
第5回	周産期における健康教育②	加藤【講義】			
第6回	周産期における健康教育③	加藤【講義】			
第7回	小児期における健康教育①	益守【講義】			
第8回	小児期における健康教育②	益守【講義】			
第9回	小児期における健康教育③	益守【講義】			
第10回	成人期における健康教育①	河原田【講義】			
第11回	成人期における健康教育②	河原田【講義・演習】			
第12回	成人期における健康教育③	河原田【講義・演習】			
第13回	老年期における健康教育①	草場【講義】			
第14回	老年期における健康教育②	草場【講義】			
第15回	老年期における健康教育③	草場【講義】			
第16回	精神科領域における健康教育①	舞弓【講義】			
第17回	精神科領域における健康教育②	舞弓・福浦【演習】			
第18回	精神科領域における健康教育③	舞弓・松島【演習】			
第19回	集団健康教育の方法	佐藤【講義】			
第20回	公衆衛生における健康教育①	佐藤【講義】			
第21回	公衆衛生における健康教育②	佐藤【講義】			
第22回	公衆衛生における健康教育③	佐藤【講義】			
第23回	まとめ・総括	河原田【講義】			
テキスト	上野昌江 和泉京子 編 公衆衛生看護学第2版 中央法規出版				
参考書	講義の中で紹介する。				
成績評価					
方法（割合）	基準				
筆記試験（70%）	達成度を正答率で評価する。				
レポート（20%）	レポートの提出状況と内容をポイント化し、評価する。				
受講態度（10%）	講義・演習への出席状況と受講姿勢をポイント化し、評価する。				
課題（レポート等）に対するフィードバック	課題やレポートの返却・フィードバックは、講義内に適宜行う。				

科目名 ナンバリングコード	看護過程Ⅱ NUS2128MN5	必修科目	3年次 1学期	講義・演習	1単位
科目責任者	医学部看護学科 講師 姫野 深雪				
科目担当者	医学部看護学科 桐明 あゆみ、河原田 康貴、福浦 善友、孫田 千恵、水落 裕美、松島 亜希子、新 裕紀子、南條 妃咲、他専任教員				
教育目標 到達目標	<p>教育目標 看護過程Ⅰの学習内容を基盤とし、健康上の問題や障害をもつ人および家族の療養生活の看護について、看護過程の展開を通じて、実践に活用するための方法を学ぶ。</p> <p>到達目標 1) 対象理解のための系統的な情報収集・整理、根拠に基づいたアセスメントができる。 2) 事例において、対象の健康課題に取り組むために、系統的思考プロセスである看護過程の展開ができる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習(予習・復習等)	必要時間	
第1回	看護過程とゴードンの機能的健康パターン、演習オリエンテーション	姫野【講義】	看護過程Ⅰの復習、情報の整理	30分	
第2回	ゴードンの機能的健康パターン①(グループワーク)	姫野【講義・演習】	課題(情報の解釈・分析)の実施	60分	
第3回	ゴードンの機能的健康パターン②(全体討議)	姫野【講義・演習】	課題(情報の解釈・分析)の実施	60分	
第4・5回	アセスメント③・④(グループワーク)	担当者全員【演習】	課題(情報の解釈)の修正	60分	
第6回	アセスメント結果の発表・全体討議	姫野【講義・演習】	課題(情報の解釈)の修正	60分	
第7回	看護問題・関連図・全体像(グループワーク)	担当者全員【演習】	課題(関連図等)の実施	60分	
第8回	看護問題・関連図・全体像、全体討議	姫野【演習】	課題(関連図等)の修正	60分	
第9回	看護計画の立案(グループワーク)	担当者全員【演習】	課題(看護計画)の実施	60分	
第10回	看護計画の発表、全体討議	姫野【講義】	課題(看護計画)の修正	60分	
第11回	看護記録(SOAP)と看護計画の評価・修正	姫野【講義】	課題(看護記録)の実施	60分	
第12回	急性疾患患者の看護過程(情報の整理)	姫野【講義・演習】	課題の実施	60分	
第13回	急性疾患患者の看護過程(アセスメント)	姫野【講義・演習】	課題(アセスメント)の修正	60分	
第14回	急性疾患患者の看護過程(関連図・全体像)	姫野【講義・演習】	課題(関連図・全体像)の実施	60分	
第15回	急性疾患患者の看護過程(看護計画立案)・まとめ	姫野【講義・演習】	課題(計画立案)の実施	60分	
テキスト	江川隆子編集：ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断，ヌーヴェルヒロカワ，2019				
参考書	関連する科目のテキストを活用する。 永田明ら編集：看護がみえる vol.4 看護過程の展開 第1版，メディックメディア，2020				
成績評価					
方法(割合)	基準				
筆記試験(50%) レポート(50%)	到達目標の達成度を正答率で評価する。 健康障害を持つ対象の事例について看護過程が展開できること。				
課題(レポート等)に対するフィードバック	レポートは採点后に個人指導を行い返却する。				